



2025-2026 年度
地区職業奉仕委員会
実施報告書

職業倫理を育み
信頼ある社会へ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

Rotary

District 2780

INDEX

2024-25年度 第12回 現・次年度 地区職業奉仕委員会(引継ぎ)議事録	01
2780地区 職業奉仕委員会作成 クラブ卓話モデル ロータリーの珠玉の価値＝職業奉仕	02
2025-26地区大会 会長幹事会 職業奉仕委員会 ロータリー 真価を示そう 職業奉仕	03
2025年11月29日 職業奉仕セミナー 最初のご挨拶	04
2025年11月29日 職業奉仕セミナー 20分基調スピーチ	05
2025年11月29日 職業奉仕セミナー資料 1～2	05・06
パワーポイント資料 ロータリーは難しい? 1～3	07～09
イラスト資料 ポールハリス「平和な親しみやすい世界」	10
資 料 ロータリー大河の系図	11
ロータリーの職業奉仕(最大の特徴) 次年度に残したい言葉 1～2	12・13
GOVERNOR'SMONTHLY LETTER 2025.8 No.2より 地区職業奉仕委員会	14
GOVERNOR'SMONTHLY LETTER 2026.1 No.7より 職業奉仕月間に強調しておきたい事	15
GOVERNOR'SMONTHLY LETTER 2026.1 No.7より 地区職業奉仕セミナー開催報告	16
職業奉仕の基本原則 職業奉仕に関する声明	17・18
2025-26年度 地区職業奉仕委員会 ご報告	
副委員長 小柴 智彦 『自分の職業奉仕とロータリーの価値』	19
副委員長 寺田 圭次 『現年度から次年度への基本伝承(案)』	20
委 員 関口 修	21
委 員 齋藤 宙也	22
委 員 松本 哲也	22
ロータリーの年表 1905～2019(代表的な項目のみ)	23～28

2024-25年度 第12回 現・次年度 地区職業奉仕委員会(引継ぎ) 議事録

開催日2025.6.17

順不同 敬称略

出席者 委員会	2024-2025	2025-2026	
	前沢 博之	田中 賢三	委員長
	関口 修	小柴 智彦	副委員長
	平井 智親	寺田 圭次	副委員長
	塩坂 源一郎	松本 哲也	(前年度担当副幹事)
	内藤 房薫	齋藤 宙也	(重任)
	齋藤 宙也	関口 修	(重任)
	松本 哲也	萩原 庸嘉	担当副幹事

□ 引継ぎ書類 前沢委員長より

- 2024-25委員会活動報告資料一式 14枚つづり (A4・A3 混合)

□ ロータリー2780地区公式ホームページ

会員の方はこちらから ➤ 地区委員会 ➤ 地区職業奉仕委員会 ➤ ダウンロード資料多数掲載

□ 田中より小柴・寺田副委員長と松下GE のヒアリング時打ち合わせた内容を軸に記録

1. 過年度の作成した資料を基に、新たな視点を加えたものを作成し、クラブに配信する。
職業奉仕は会員の自己研鑽を含め、事業経営に役立つ学びを提供することも考えて行く。
2. クラブ委員長セミナーを開催する。11月29日(土)
3. クラブまたは会員に向けて新たな発信方法を検討する。(寺田副委員長提案)

□ 委員会開催予定

- 原則として、第3火曜日・年間8回とする(懇親会を含む)。17時30分～

第 1 回	2025年	7月 15日 (火)	
第 2 回		8月 19日 (火)	
第 3 回		10月 21日 (火)	
第 4 回		11月 18日 (火)	
セミナー		11月 29日 (土)	※クラブ内津話及び他クラブ講師招へいを提案
第 5 回		12月 16日 (火)	
第 6 回	2026年	2月 17日 (火)	
第 7 回		4月 21日 (火)	
第 8 回		6月 23日 (火)	現・新合同委員会

- 7月15日の委員会開催案内配信を副委員長にお願いします。

□ その他

- 厚木県央ロータリークラブ卓話依頼：7月25日(金)かねてより依頼があった。副委員長にお願いして先方に連絡をお願いします。田中はともに行動することも可とします。以上。

2025年6月19日 訂正や追加記載がある方はメール下さい。 田中賢三

2780地区 職業奉仕委員会作成 クラブ卓話モデル ロータリーの珠玉の価値＝職業奉仕

ロータリーの職業奉仕とはロータリーの根幹であり、ロータリーを縦軸で貫く心棒である。

職業奉仕こそがロータリー会員であることの珠玉の価値であり、学び・成長・誇りを包含する実践を伴う奉仕活動である。人生哲学をインプット&アウトプットする実証運動にほかならない。

ロータリーは通常に存在する単に奉仕を目的とする奉仕団体ではない。

ロータリーは、自己、家庭、事業、専門職業、社会、世界（ステークホルダー）をより良くしようと日常的に切磋琢磨して考え実践し、学び、成長、誇りを高めて行くスパイラル向上運動をしている団体である。実践とは実際に行動を伴うものであり、単なる理念ではない。職業奉仕とはロータリー運動において自己研鑽し、知識とスキルを高め人格的にもより高みを目指し、その力をステークホルダーに役に立てて行く事である。

□ ロータリーの真価を育むための理念(ロータリーの中核的価値観＋視野を広げた概念)

- 1 ロータリーの目的
- 2 2つの公式標語 コリンズとシェルドン
- 3 4つのテスト ハーバートテラー
- 4 5大奉仕
- 5 中核的価値観 親睦・高潔性・多様性・リーダーシップ
- 6 社会奉仕に関する1923年の声明
- 7 ポールハリスの思想 シェルドン(職業奉仕確立者)
- 8 会員相互間における刺激 日本人の一般的な倫理観を含む
- 9 ロータリー運動でハッピーになって欲しい人達 ステークホルダー
- 10 ロータリーの倫理観において参照されている人達

ロータリアンの行動規範と職業奉仕の声明
ロータリーの倫理訓なども知っておく必要がある

二宮 尊徳／渋沢 栄一／森 信三／松下 幸之助／稲盛 和夫／千 玄室／他多数

ロータリーの職業奉仕として従来から説明されている概念と境界を越えた広義の概念を含んでいる。30分間の卓話時間では個々の項目において深掘する時間的余裕はない。従って何を重点に置くかを選択する必要がある。

本モデルは地区職業奉仕委員会にて今後議論を進めて行く事になるのでよろしくお願いします。

□ 地区職業奉仕委員会委員各位への次回8月19日までの宿題

※8月19日 第2回委員会にて発言してください

- 1 上記10項目を列挙したが追加する項目があるか
- 2 ロータリーの目的 序文「奉仕の理念」これを分かり易く説明すること
- 3 ロータリーの目的 第2項「職業を高潔なものにすること」を分かり易く説明すること
- 4 中核的価値観の「高潔性」を分かり易く説明すること
- 5 上記第10項で追加すべき人物と思想

以上

2025年7月17日 田中 賢三 原案作成

2025年9月6日 会長幹事会
委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

ロータリーの目的第2項「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」、ロータリーの職業奉仕はこれが全ての始まりであり、ロータリーの太い芯棒であるのではないのでしょうか。高い倫理基準をもって職業の価値を高め、より役に立つ仕事をするのが奉仕する機会の土台となるという考え方です。職業や事業のステークホルダー、すなわち社員・家族・株主・取引先・顧客・地域社会など等、高い倫理基準をもって相互に幸せを希求し、その信用を基礎として事業環境をより盤石なものにして行く事が求められています。ロータリーのステークホルダーは、これにクラブと地区、国際ロータリーとロータリーブランドなどが加わってきます。これ等の基礎で築かれた舞台の上で職業や自分たちの持つスキルやリソースを駆使して奉仕活動を実践して行く事が職業奉仕の根幹であると思います。ロータリーの5大奉仕は区分されていますが、その境界はあくまでもファジーであるわけで、議論をも楽しみながら実践して行く事で今年度の職業奉仕を進めて行きたいと思っております。

どうぞクラブ内卓話、クラブ同士の卓話交換、地区委員会からの卓話派遣など様々な学びの機会を生かして下さい。職業奉仕月間は1月ですが、それにこだわらずに学び、実践をお願いします。

推奨クラブ卓話セミナーも11月29日(土)に計画していますのでクラブ委員長はご出席ください。

ロータリーの職業奉仕は、4つのテストと2つの公式標語をベースにして、人と人の営みにおいて必須の倫理を会員同士で議論し、学び、より高みを目指すことでまずは自分自身と自分の事業に役立て下さい。そして事業を隆盛に導き、永くロータリーの奉仕活動が続けることが出来るようにと願っております。

ロータリーは奉仕と自己成長の2面的機能を持っています。

職業奉仕は自己成長に役立つものです。

定型的な倫理観は2つの公式標語と4つのテストです。

これはいかなる宗教にも関係を持たずに世界共通の倫理観で選ばれた言葉です。

私達日本人は世界共通のロータリーモットーに加えて、優れた会員から素晴らしい倫理観を学んで刺激を受けながら自己成長をして行く、自己研鑽が最も大切なロータリーの機能であることを理解して行きたいと思っています。

職業奉仕で皆で幸せの道を歩んでゆこうではありませんか。

2025年11月29日 職業奉仕セミナー 最初のご挨拶

2025年11月29日 職業奉仕セミナー
委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

職業奉仕はロータリーの歴史そのもので、数ある奉仕の中で最も価値ある重要な委員会であります。

2025年版手続き要覧がネット上で公開されています。

2022年版と最初の部分は全く同じ記述になっています。

「疑問が生じた場合は英語版が正文となります。」という文が最初に記載されています。

そこで今日は日本語の翻訳と英語の意味を学びとして楽しんでいただきたいと思います。翻訳には苦勞されていると思います。しかしそれだけではないと思っています。後ほど僕の話聞いていただきたく、よろしくお願い致します。

そしてご自分のクラブで今日の学びを拡大解釈してクラブの職業奉仕卓話の材料にいただければ幸いです。

事業や人生は哲学及び倫理を生かしてゆくことにつぎと、ロータリーは職業奉仕がその大事な役割を持っているのです。

今日はよろしくお願い致します。

今年度地区職業奉仕セミナーでは、「ロータリーの職業奉仕」の動画を制作、上映しました。

ロータリー創設から、職業奉仕の概念が成り立ち、奉仕事業に発展していった当時のイメージをAIを駆使して映像化しました。シンプルで理解しやすい内容となっています。

2780地区ウェブサイト内地区委員会ページの職業奉仕のページ内から視聴できます。

右の二次元コードからページにアクセス出来ます



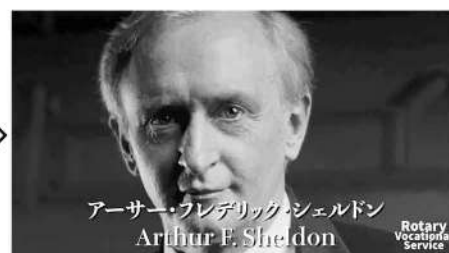
1



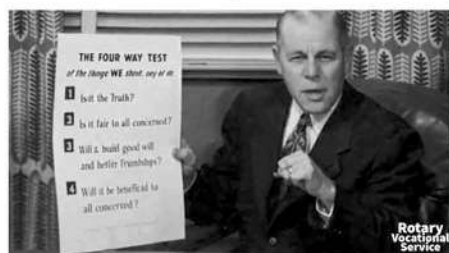
2



3



4



5



6



2025年11月29日 職業奉仕セミナー 20分基調スピーチ

2025年11月29日 職業奉仕セミナー
委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

職業奉仕はロータリーの歴史そのもの、中核的価値観の最高の位置にあるものと思っています。

今の時代を生きる人の特徴は「自分が大事」という個人主義が強くなってきている。ロータリーは「自分以外も大事」利己と利他を両立させる考え方、社会と自分に大いに役立つ教育を担っている。

若い人は自分のために 奉仕の基礎を固めて 社会のために
高年の方は 社会のために 稼ぎから勤めへ

若い人も高齢の方もつながるのはロータリーが一番です。ロータリーは経営者にとっては自分への投資です。全ての方にとっては人生哲学を学ぶことです。そして自分の生涯の物語を創作して行く事になるのです。だからポール・ハリスも米山梅吉もロータリーに入会することを勧めているのです。

長く居て 人生ゆたか ロータリー

それでは資料の説明に入ります。

2025年11月29日

職業奉仕セミナー資料 1

打合せ会／2025年10月10日 17:00～

□ 職業奉仕の基本的な考え方として項目のリスト

- 1 •ロータリーの目的
 - 国際ロータリーの使命 ロータリーのビジョン声明
 - ロータリークラブ定款第6条5大奉仕 第2項職業奉仕
- 2 •2つの公式標語
- 3 •4つのテスト
- 4 •5大奉仕の第2項(上記1とダブリ) 職業奉仕
- 5 •中核的価値観
- 6 •社会奉仕に関する1923年の声明(基本理念の中に掲載)
 - 社会奉仕に関する声明1992年 (同上)
- 7 •ポール・ハリスの思い
 - シェルドン 職業奉仕創始者の思い
- 8 •ロータリアンの行動規範
 - ロータリーの倫理訓変遷を含む
- 9 •職業奉仕の声明

【左記項目の資料の所在】

項目1・2・3・4・5・6

2022年手続き要覧 ロータリーの基本理念
(2025年版が確認できたら再度ご案内)

項目7

ポール・ハリス自著 ロータリーへの道
シェルドン

□ ロータリー職業奉仕年表

1913年 ・シェルドン黄金律演説

1915年 ・ロータリー倫理訓

I deal of Service 言葉出現

職業奉仕基準の確立

原文は The Code of Ethics 日本語訳 道德律

1920年 ・2つの公式標語原形発表

コリンズ Service, Not Self

シェルドン He Profits Most Who Serves Best

1932年 ・4つのテスト

ハーバート・テラー

1935年 ・ロータリーの綱領(目的)

1987年 ・職業奉仕に関する声明 ・職業奉仕概念の変更

1989年 ・ロータリアンの職業宣言

1991年 ・国際ロータリーの使命 団体奉仕の提唱

2001年 ・1業種1会員制変更

2002年 ・ロータリー 第2世紀体制強化

2011年 ・ロータリーの行動規範

□ 職業奉仕全般の資料

・地区ホームページ、職業奉仕委員会のページ 過年度委員会の資料が掲載されている
(基本的な内容は毎年同じ)

・My Rotary

ロータリー章典 8.030 職業奉仕の原則

手続き要覧2025年最新版

・職業奉仕月間リソース(2024年版) 内容：基本理念

2つの公式標語

若い世代の職業人とともに ロータリーの価値

職業奉仕の手引き

2022年手続き要覧

・Dawn Of Nobility

地区職業奉仕委員会副委員長 寺田圭次／著作

ロータリーは難しい？ 1

1

職業奉仕月間卓話

2023-2024年度

国際ロータリー第2780地区 職業奉仕委員会

2

自己紹介

萩原 庸嘉

有限会社丸興商会

代表取締役

- ・ 塗料販売 看板製作
- ・ 消防設備関連事業

国際ロータリー第2780地区

地区職業奉仕委員会 委員

伊勢原ロータリークラブ

3

職業奉仕は難しい？

職業？
Vocational？



奉仕？
Service？

4

職業人で構成されているロータリークラブ



5

ロータリーと職業奉仕の歴史と変貌

1906	ロータリーの誕生 inシカゴ 「親睦」と「実業互惠」が目的	1932	ハーバード・テラー 会社再建のため「四つのテスト」を考案
1911	アーサー・シェルドン 「最もよく奉仕する者、 最も多く報いられる」	1987	職業奉仕に関する声明
1912	「ロータリーの目的」を制定 (旧「ロータリーの綱領」)	2008	「ロータリーの樹・2008」 → 2013年RI規定審議会で採択
1927	ベルギー・オステンド国際大会 奉仕部門を四大奉仕に分けることを決定 (クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕) Vocational servesと命名	2016	2016年規定審議会 「制定案16-10奉仕の第二部門を改正する件」 を採択

6

1911 奉仕の理念を根付かせたアーサー・フレデリック・シェルドン



アーサー・フレデリック・シェルドン

シェルドンの販売哲学

商取引というものは売手買手の双方に満足なくては成り立つものではないということ、長期的に商売を成立させるためには、売手と買手の間に信用と呼ばれる、信頼関係が確立されることが根拠であって、長期的に安定した利潤をあげることは、この信用確立という精神的境地の確立と表裏一体の関係にある。

商売とは他人に対してサービスすることであること
成功に導く方法は、利益を他人とシェアするというサービス学を遵守すること
顧客への態度や気配り、商品や業務に対する責任、顧客が感じる満足感と公平感

「サービス」 He profits from Service best.
日本語→価格が安い/特典 「最も」 英語→奉仕/人の役に立つ

ロータリーは難しい？ 2

7

1911 奉仕の理念を根付かせたアーサー・フレデリック・シェルドン

アーサー・シェルドンらの努力によって、ロータリー活動の基本は自分の職業を通しての奉仕であるというロータリーの根本原理が定着

職業奉仕は、
ロータリアン一人一人が例会に出席して他の会員との交流・親睦を通してモラルを高め、
↓
周囲の人達のモラルを向上させて、業界の手本となり
↓
その業界のモラルを向上させていくこと
↓
やがては、社会全体のモラルが高まっていくことになる

「ロータリーへの私の道」
「ロータリークラブの会員は、その一人一人が自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である」
ポール・ハリス

8

ロータリーと職業奉仕の歴史と変貌

1905	ロータリーの誕生 inシカゴ 「親睦」と「実業互惠」が目的	1932	ハーバード・テラー 会社再建のため「四つのテスト」を考案
1911	アーサー・シェルドン 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」	1987	職業奉仕に関する声明
1912	「ロータリーの目的」を制定 (旧「ロータリーの綱領」)	2008	「ロータリーの樹・2008」 → 2013年RI規定審議会にて採択
1927	ベルギー・オステンド国際大会 奉仕部門を四大奉仕に分けることを決定 (クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕) Vocational servesと命名	2016	2016年規定審議会 「制定案16-10奉仕の第二部門を改正する件」を採択

9

1912 ロータリーの目的

- 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

10

ロータリーと職業奉仕の歴史と変貌

1905	ロータリーの誕生 inシカゴ 「親睦」と「実業互惠」が目的	1932	ハーバード・テラー 会社再建のため「四つのテスト」を考案
1911	アーサー・シェルドン 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」	1987	職業奉仕に関する声明
1912	「ロータリーの目的」を制定 (旧「ロータリーの綱領」)	2008	「ロータリーの樹・2008」 → 2013年RI規定審議会にて採択
1927	ベルギー・オステンド国際大会 奉仕部門を四大奉仕に分けることを決定 (クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕) Vocational servesと命名	2016	2016年規定審議会 「制定案16-10奉仕の第二部門を改正する件」を採択

11

1932 四つのテスト

1932年世界大恐慌
ハーバート・テラーは、大不況の中で破産の危機にある会社を、救って欲しいと要請される

破産危機の会社を再生するには
「人格」と「信頼性」と「奉仕の心」
つまり、職業奉仕が必要

その育成の指針として会社の従業員が使えるような倫理上の尺度になる項目として作られたのが、
「四つのテスト」
この4つのテストの実践により、見事に危機的状況から会社を再生させる事に成功

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

12

ロータリーと職業奉仕の歴史と変貌

1905	ロータリーの誕生 inシカゴ 「親睦」と「実業互惠」が目的	1932	ハーバード・テラー 会社再建のため「四つのテスト」を考案
1911	アーサー・シェルドン 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」	1987	職業奉仕に関する声明
1912	「ロータリーの目的」を制定 (旧「ロータリーの綱領」)	2008	「ロータリーの樹・2008」 → 2013年RI規定審議会にて採択
1927	ベルギー・オステンド国際大会 奉仕部門を四大奉仕に分けることを決定 (クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕) Vocational servesと命名	2016	2016年規定審議会 「制定案16-10奉仕の第二部門を改正する件」を採択

13

2016

職業奉仕とは

2016年規定審議会「制定案16-10奉仕の第二部門を改正する件」を採択

ロータリークラブ定款 第6条2

職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。

会員の役割には、ロータリーの理念にしたがって自分自身を律し事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。

(一部略)

倫理的・精神的

まさに、自分の職場で、職業を遂行する上で、「奉仕の理念」「4つのテスト」を道しるべとしましょう。それこそが、「職業奉仕」ですと明記されています。

実践的・行動

自分の職業スキルを活かして、社会問題やニーズに役立てるために、クラブプロジェクトに応えましょと明記されています。

14

2008

ロータリーの樹

2008年 RI国際会議 渡辺好政RI理事 講演資料

ロータリーの樹

ロータリー財団 国際奉仕 社会奉仕 青少年奉仕

職業奉仕

ロータリーの目的・四つのテスト

ロータリーの理想 クラブ奉仕

最も多く奉仕する者、最も多く助けられる

※「ロータリーの樹」(2008)を一部修正しております。

15

2008

ロータリーの樹

2008年 RI国際会議 渡辺好政RI理事 講演資料

ロータリー財団 国際奉仕 社会奉仕 青少年奉仕

職業奉仕

ロータリーの目的・四つのテスト

ロータリーの理想 クラブ奉仕

最も多く奉仕する者、最も多く助けられる

16

相模原南ロータリークラブによる職業奉仕実践例

2023年2月13日相模女子大学高等部で行われた出前授業

地域で奉仕活動を行う相模原南ロータリークラブ（部会長 渡辺好政）は2月13日、相模女子大学高等部1年の生徒を対象に出前授業を行った。

当日は10人のメンバーが講師を務めた。「職業を知る」をテーマに各講師が仕事を通して生徒たちに知ってほしいことなどを話した。教壇に立った藤原不動産鑑定（相模大野）所長の藤原新一さんは「生徒は真剣に話を聞いてくれた。問いかけると活発に回答してくれた」と授業の様子を振り返った。

生徒たちからは「好きなことをしているところがいい」「自分の将来を考える時の参考にしたい」などの声が寄せられた。

タウンニュース記事転用

17

大和ロータリークラブによる職業奉仕実践例

大和ロータリークラブ主催の「やまと児童絵画コンクール」夏休み期間にテーマに沿った絵を描いてもらい、コンクールと絵画に参加してもらった企画

VR展示・WEB展示のご案内

第3回やまと児童絵画コンクール2021

60周年記念事業

～私たちのオリンピック～

会員 室井の4作品

To KYO 2020

60th Anniversary

VR展示

VR展示

VR展示

VR展示

18

ロータリーを通して学んでいる「奉仕の理念」を職場に持ち帰り、職業で世の中に貢献し奉仕する。

職業スキルや経験値をクラブの奉仕プロジェクトで発揮する。

「職業奉仕を実践しましょう」

ご清聴ありがとうございました

2023-2024年度
2780地区職業奉仕委員会





ロータリーの職業奉仕(最大の特徴) 次年度に残したい言葉 1

2026年2月10日 2025-26地区職業奉仕委員会

委員長 田中 賢三(茅ヶ崎RC)

人のために尽くす奉仕活動に加えて、自分自身と事業に役立つロータリー、それが{職業奉仕}です。職業奉仕の説明としての主な言葉は、以下の中に時代とともに変化しながら表現されています。

- ロータリーの目的
- ロータリーの公式標語 2つ
- 4つのテスト
- ロータリークラブ定款 5大奉仕第2項 職業奉仕
- 1915年 ロータリーの倫理訓(後に職業訓あるいは道德律)
- 1987年 職業奉仕に関する声明
- 1989年 ロータリアンの職業宣言
- 2011年 ロータリーの行動規範

ロータリーの芯棒である職業奉仕は1915年経営学者でもあったシェルドンによって確立されていますが、日本のロータリーにとってはこの当時のものを参考にして考えて行きたいと思います。

1915年から次第に参加国やクラブも多様化して、現在ではあらゆる宗教、特定国や地域に根付いている言葉や名言などは国際大会決議、規定審議会などにより削除や改変し続けて、万国共通のエッセンスだけが残された言葉として公式に採用されています。ロータリー専門の貴重な用語は大切にしなければならない理由はここにあるのです。ロータリーで云うところの高潔性とはロータリー専門用語に加えて自己の倫理感を高めることを求めているのです。人や事業の品格を高めて大いに利益を上げ、奉仕活動を持続できる基礎を作りましょう。それ故に前記の項目に加えて日本のクラブ会員が例会・IM・地区大会あるいは地区委員会などにおいてフェロー並びにリーダーの言葉や振る舞いから受ける刺激は自己に大きな影響を与え、家族や事業に、奉仕に、ロータリーの活動そのものに役に立つのです。もちろん親睦とか友情が基礎にある事が前提となります。

職業奉仕(ロータリー)は自分への投資
人生哲学の学び上質な仲間との出会い
事業経営の学びロータリーは最大の異業種交流会
倫理の学び
他の奉仕に役に立つ学び人生劇場の物語を紡ぐ
家族を含めたステークホルダーのために
人生に役立つロータリー・仲間を増やそう

ロータリーの職業奉仕は、個人奉仕と団体奉仕の両面を持つ5大奉仕第2項と高潔性を求められている事です。

- 1 クラブ全体で職業奉仕をやろうと思ったときに、同じ職業の会員はほとんどいないでしょう。
ですからそれぞれの会員がそれぞれの職業上の手腕を生かして奉仕活動をする、これが団体奉仕です。これがロータリーの中核的価値観と標準ロータリークラブ定款第2項(全く同一文章)に記載されている内容で、職業上の手腕とあるのは他の文章では職業上のスキルとも訳されているVocational skillsが原文です。
- 2 個人奉仕は自己と職業の高潔性を高めると同時に、そのスキルを利用して奉仕活動を実践する事です。
- 3 もう一つ大事なことはロータリークラブ会員の役割にはロータリーの理念に従って自分自身を律する事。1項と同じ中核的価値観と標準ロータリークラブ定款第2項に記載されている内容です。要するに倫理を学び自分に生かすことです。自分の仕事には誠実に対処することです。自己と職業とクラブの品格を一層高めて行く、たゆみなき歩みを求めています。

職業奉仕を理解するには「高潔さ」ロータリーの目的第2項、「奉仕の理念」ロータリーの目的序文、「みんな」4つのテスト第4項、「親睦」中核的価値観第1項を原文にのっとり正しく理解することが肝要である。

最後に、「ロータリアンは寛容でなくてはならない」と寛容の精神をポールハリスはこの言葉を大事にしてきたことを忘れてはならない。以下の職業奉仕に関する原語をあなたはどうか訳しますか？

- 高潔さ Dignity
- 奉仕の理念 The ideal of service
serviceサービスも経済的な意味と奉仕の意味がある。
- 報われる、利益または恩恵 Profit
- みんな all concerned
- 親睦 Fellowship

地区職業奉仕委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『職業奉仕の概念はロータリー最高の特徴です』

役に立つロータリー、それは職業奉仕を理解することから始まります。最高の倫理観をもって事業や奉仕活動に当たることです。あなたの職業の専門知識や技術は日々向上している事でしょう。自分と家族、事業、奉仕活動などを営み実行するに当たっては専門知識と最高レベルの倫理観が必要となります。

ロータリーの中核的価値観は、親睦(fellowship)・高潔性(integrity)・多様性(diversity)・奉仕(service)・リーダーシップ(leadership)と基本的特徴が表現されています。

高潔性(integrity)を例に挙げてもIntegrityは誠実・正直・高潔・品位・真摯・信頼など様々な意味を持っています。日本のロータリーは翻訳者の訳文で理解されていますが、今年度は原文の意味に光を当ててみたいと思っています。ロータリーはあなたの人生や事業に役に立つことを願っております。そのために委員会活動をしてまいります。

"ロータリー 職業スキルが 役に立ち"

職業奉仕月間に強調しておきたい事

地区職業奉仕委員会

委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

毎年1月は職業奉仕月間として国際ロータリー指定しています。特にいわれはないと思いますが、ロータリー創始者ポール・ハリスの命日は1947年1月27日であることを思い出します。生誕はポール・ハリスと職業奉仕の確立者と云われているシェルドンは同じ年、1868年(明治元年)であり、意気投合されたのではないかと考えている次第です。それでは今月は職業奉仕の原点の一つである1915年のロータリー年次国際大会(サンフランシスコ)において決議された11項目のロータリー倫理訓を紹介しておきます。現代風に簡略していますので詳細は各自ネット検索されて下さい。

ロータリー倫理訓とこの職業倫理基準は、
我々に共通な人間性を求める心をその骨子とする

- 1 自分の職業上の価値を認め社会に奉仕する機会を与えられたものと考えこと。
- 2 自分の身を修め、実力を養い、奉仕を広めること。この奉仕に徹する者に最大の利益があるとするのがロータリーの基本原則である。
- 3 最高の正義と道徳に基づく仕事をする事。
- 4 あらゆる仕事は適法にして道徳にかなうものであること。
- 5 自分の職業の水準を向上させること。
- 6 優れたサービスを尽くすこと。
- 7 事業経営者の最大の資産は友人である。
- 8 真の友人はみだりに友人の信類を利用しないこと。
- 9 不正なことを強く戒めること。
- 10 ロータリーの神髄は競争でなく協力であること。また、派閥を作ってはならない。
- 11 全ての人にしてもらいたいと欲することを人に対して行うべしという黄金律を信じ、人類社会の最良の状態を希求したい。

以上ですが、今の職業奉仕を理解するのに大いに役に立つ資料としてご活用下さい。ロータリーの原点が今の中核的価値観として受け継がれている大切な思想となっています。

地区職業奉仕セミナー開催報告

地区職業奉仕委員会
委員長 田中 賢三 (茅ヶ崎RC)

『1月は職業奉仕月間・クラブで自前の卓話をお願いします』

「職業奉仕はロータリーの芯棒を貫いている理論と実践です」

2025年11月29日(土)午後に地区職業奉仕セミナーを開催しました。前年度までに蓄積されていた資料に今年度独自のエッセンスを加えた資料を使用しました。ロータリー草創期のポール・ハリスや職業奉仕を確立したシェルドンなどが出演した6分間の動画を披露しました。パワーポイントと他の資料と合わせてクラブで卓話が出来るように地区委員会にて十分検討を加えた内容でした。

「ロータリーが世界中で会員のために役立っている」歴史的な考察と、今の時代にも役に立っていることを考えて頂く時間となり、本セミナーは中身が濃いものになったのではないかと考えております。

「職業奉仕は会員みんなのためになるロータリー最高の特徴です」

「あなたの仕事は何ですか」という問いかけに「自分の事業や人生を通して人の役に立つのが私の仕事です」と答えて下さい。これが拡大解釈したロータリーの職業奉仕ではないでしょうか。

Ideal of Service や **One Profits Most Who Serves Best** はロータリーの目的やロータリーの公式標語に使われている言葉です。手続き要覧の1ページ最初の文章に、「本要覧の意味や解釈について疑義が生じた場合は、英語版が正文となります。」と記載されています。上記英文は日本語でロータリーの理念などと翻訳されていますが、本年度は翻訳文章を拡大解釈してロータリーの視野を広げて頂くようお願い致します。**Service** や **Profits** の意味を皆で良く考えてみて下さるようお願い致します。セミナーの資料は後日地区ホームページ職業奉仕委員会の中に掲載する予定です。

松下ガバナー・中込ガバナーエレクト・前田ガバナーノミニ・ガバナー補佐の皆様(大箭様・松本様・栗原様・三荒様・高杉様)・東地区幹事様・生駒ロータリーの友地区代表委員・並びにご出席頂いたクラブ31名の皆様・職業奉仕委員会の皆様・地区事務局の皆様・本セミナー関係の全ての皆様に感謝申し上げます。

地区職業奉仕委員会／田中・小柴・寺田・松本・斎藤・関内



職業奉仕の基本原則 職業奉仕に関する声明

2025年10月会合、決定87号、2020年1月理事会会合、決定85号、2022年10月理事会会合、決定29号により改正 8.030. 8.030.1.

※ロータリー章典より抜粋

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想の実践をロータリーが培い、支援する方法である。「ロータリーの目的」第2項は職業奉仕の基礎として、具体的には、以下を奨励し、育む。

- 職業上の高い倫理基準。
- 役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識。
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする。

上記の職業奉仕の理想に本来込められているのは次のものである。

- 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人びと、職業上の知己すべての公正な扱い。
- 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務である。クラブの役割は、頻繁に職業奉仕を実践することによって、クラブ自身の行動に職業奉仕を応用することによって、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を实践、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らの行いと事業、職業、および専門職務を律すること、また、クラブが開発したプロジェクトに応えることである(2019年10月理事会会合、決定29号)。

出典：1987年10～11月理事会会合、決定164号2014年1月理事会会合、決定88号、2019年10月理事会会合、決定29号により改正2001年6月理事会会合、決定352号により確認。

□ 国際ロータリー章典 2025年10月8.030.2.会員の行動規範

全会員(ロータリアンおよびローターアクター)には以下のことが求められる。

- 1 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2 敬意ある言葉を用い、支援的な姿勢を示し、歓迎する環境を育み、すべての人の特性を尊重することで、他者を公平に扱う。
- 3 ロータリーを通じて自分の職業スキルを生かし、地域社会や世界のほかの地域の人びとの生活の質を高める。
- 4 ロータリーやほかのロータリー会員の評判を落とすような言動は避ける。
- 5 ロータリー関連行事のすべての行動規範に従う。

さらに、地区ガバナーを含む地区リーダーと地域リーダーは次のことに従う。

- 6 ロータリーの活動に従事する際、および生活においても、適用されるすべての法律と規制を遵守する。
- 7 国際ロータリー定款と国際ロータリー細則の規定、ならびにロータリー章典にあるRI理事会の定めた規定を遵守する。
- 8 ロータリーの目的に従ってすべての会員と参加者の利益のために奉仕し、地区会員の利益を優先し、自らの行動が不適切な印象すら与えないようにする。
- 9 地区において、安全、礼儀、品格を奨励する環境を育む。これには、ハラスメントのいかなる申し立てにも迅速に対処することが含まれる。
- 10 自分の役職を個人的な威信や利益、または家族や友人の利益のために利用することを避ける。
- 11 すべての当事者に対する公正さに基づいて行動する。

- 12 財務情報の透明性を奨励し、財務管理に関して地元と国の適用法を遵守し、ロータリーの経費支払いの方針に従う。
国際ロータリー章典2025年10月
- 13 極秘情報を(決して個人目的のためではなく)意図された目的のためだけに使用し、そのような情報の開示、連絡、使用を禁止かつ制限し、不慮の開示に対して細心の注意を払う。

すべての会員とガバナーへの期待に応えることに加え、理事は以下を行う。

- 14 (自らが選出された地域だけでなく)すべての会員とRI全体の最善の利益のために行動し、RIに対する忠誠の義務を遵守し、不適切な影響から独立して行動し、当組織の利益を第一に優先する。
- 15 理事会の「利害の対立に関する方針」に従う。この方針は、理事会の決定に関して不適切な印象すら与えないようにするために作成されたものであり、従って、理事会が検討する案件に対する影響や立場と引き換えに、申し出、贈答品、または恩恵を受けることを控える。
- 16 入念かつ適切な注意を払って自らの責務を果たす。この責務には、理にかなった質問をすること、決定を下す前に可能な限り多くの情報を集めること、一般に同様の状況において同等の立場にある人と同程度の慎重さをもつことが含まれる。
- 17 自らの決定(この決定はしばしば多様なグループや個人に大きなインパクトを与える)がもたらし得るインパクトについて、四つのテストに一致した方法で慎重に検討し、そのインパクトを受けるすべての人を公平に扱うようにし、そうすることで理事会が公平かつ当組織の最善の利益のために行動しているという会員の信頼を維持する。
- 18 この規範が遵守され、その目標が達成されるようにするため、この規範の違反の疑いや可能性があれば、事務総長またはRI会長に報告し、他の理事も報告するよう奨励する。
- 19 オリエンテーションでこの行動規範の内容を確認し、少なくとも年に一度、この規範を読み、理解し、責務の遂行にあたってこれを遵守することを確認する。

事務総長またはRI会長は、理事がこの規範に違反した可能性があることを知った場合、理事会の執行委員会に可能な限りあらゆる詳細を提供する。その後、委員会は、すべての関連情報を入手し、委員会が適切とみなすあらゆる措置を取るも国際ロータリー章典2025年10月のとする。これには、申し立てられた違反者への忠告や、理事会全体による是正措置の勧告などが含まれる。理事に対して懲戒措置をとることができるのは、理事会のみである(2025年4月理事会会合、決定147号)。

出典：規定審議会、89-148号。2011年5月理事会会合、決定204号、2011年9月理事会会合、決定87号、2013年10月理事会会合、決定31号、2014年1月理事会会合、決定88号、2014年10月理事会会合、決定60号、2019年1月理事会会合、決定119号、2023年4月理事会会合、決定114号により改正 2025年4月理事会会合、決定147号も参照のこと。

8.030.3, 8.040.

□ 職業奉仕に関する重要なメッセージ

ロータリアン、クラブ、および地区は、職業奉仕の支援において以下の方策を実施すべきである。

- ・新会員の勧誘と入会において、職業と職業分類の重視を強化する。
- ・クラブの活動において職業を重視する方法を特定する。
- ・クラブと地区レベルのロータリーにおいて、高潔の精神でビジネス・ネットワークを広げる活動をさらに強調する。
- ・新世代の入会促進とメンタリングの方法として、高潔の精神でビジネス・ネットワークを広げる活動にさらに着目する。
- ・「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の関係、およびこれらがロータリーの価値観においていかに重要かを強調する(2012年1月理事会会合、決定158号)。

出典：2011年5月理事会会合、決定204号。2011年9月理事会会合、決定87号により改正。

地区職業奉仕委員会

副委員長 小柴 智彦 (藤沢東RC)

『自分の職業奉仕とロータリーの価値』

ロータリーの「超我の奉仕」は、単なる自己犠牲ではなく、人のために行動することで、自分自身の心も豊かになっていくものだと思います。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という言葉には、その本質が込められていると感じます。人に喜んでもらうことが、結果として自分の喜びや信頼につながっていくのだと思います。時代が変わっても、信頼と思いやりの価値は変わりません。

私にとって職業奉仕とは、自分の仕事を通じて人や社会の役に立つことです。利益だけを追うのではなく、「相手のためになっているか」「誠実であるか」を大切にしながら働く姿勢そのものだと思います。職業奉仕は特別なことではなく、日々の仕事の中で人を大切にし、社会に少しでも役立とうとする心の実践かと思います。

中込ガバナーエレクトのお話にもありましたが、机上の勉強だけで終わらせず、積極的に行動へ移していくことが大切です。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕も含め、まず一步を踏み出し、アクションを起こしていくことが、これからのロータリーに必要なだと思います。

寺田副委員長が作成されたAI動画「職業奉仕の成り立ち」も、まさに職業奉仕の実践ではないでしょうか。

2025-26年度 地区職業奉仕委員会 ご報告

地区職業奉仕委員会

副委員長 寺田 圭次 (ふじさわ湘南RC)

『現年度から次年度への基本伝承(案)』

(2025-26年度職業奉仕委員会→2026-27年度奉仕事業推進委員会)

「職業奉仕は他の奉仕の上位概念(根幹)である」ことを構造として伝える

① 定義の固定

【職業奉仕の定義(2025-26年度 地区職業奉仕委員会)】

職業奉仕とは、会員が自らの職業に倫理観をもって臨み、事業を発展させることである。その倫理観ある事業活動が地域社会に示されることにより、同業他社へ波及し、地域全体の職業倫理の向上に寄与する。この連鎖こそが地域社会への貢献であり、ロータリーにおける職業奉仕の本質である。

- 「地域貢献=直接的な奉仕活動ではない」と明確化
- “誤解の余地を消す言い切り型”にする

② よくある誤解の明文化(誤解回避策)

【職業奉仕に関する誤解と是正】

誤解①：職業スキルを使ったボランティア活動が職業奉仕である

→是正：それは社会奉仕の一形態であり、職業奉仕の本質ではない

誤解②：地域への直接的貢献活動が職業奉仕である

→是正：職業奉仕は、事業の在り方そのものを通じた間接的かつ本質的な社会貢献である

誤解③：倫理と利益は相反する

→是正：倫理観ある経営こそが事業発展を生み、その結果として社会に奉仕をもたらす

③ 新年度での位置づけ

【奉仕事業推進委員会における職業奉仕の位置づけ提言】

職業奉仕は5大奉仕の一分野ではなく、全ての奉仕活動の基盤となる理念である。新委員会においては以下の整理を推奨する。

◎社会奉仕/国際奉仕/青少年奉仕：→「何をするか(活動)」

◎職業奉仕：→「どのような価値観で行うか(倫理・姿勢)」

すなわち、職業奉仕は各奉仕活動の“上位概念”として位置づける。

④ 引継ぎ資産の活用

- 委員長資料：→ 定義の公式文書として保存・配布
- プレゼン資料：→ クラブ訪問・地区研修で継続使用
- AI動画：→ 初学者向け導入教材として活用(特に新会員向け)

※上記3点は単なる参考資料ではなく、「標準教材」として位置づけることを推奨する。

2025-26年度 地区職業奉仕委員会 ご報告

地区職業奉仕委員会

委員 関口 修 (相模原西RC)

職業奉仕を簡単にわかりやすく説明できないのはどうしてか？

それは本来ロータリアンが知るべき基本理念(超我の奉仕、ロータリーの目的、中核的価値観等々)の説明から入るからではないでしょうか。ロータリーの基本理念はロータリアンなら当然、勉強し理解していなければいけません。それはクラブのロータリー情報委員会などで勉強したらよろしいと考えます。

今回、職業奉仕について提唱者シェルドンの考えに基づいて考えを述べさせていただきます。シェルドンは経営学者として当時の最も新しい分野である販売学を体系化すると共に、インド哲学の影響で奉仕哲学という理念を完成させました。シェルドンは「経営学は人間に対する奉仕の学問である」こと「ビジネスにおいて、奉仕とは顧客に満足を与える」ことを強調しました。

*One profits most who serves best

(最もよく奉仕する者 最も多く報いられる)は1902年シェルドンスクールの教科書と出版された「Successful Selling」の文中に出てくる言葉です。シェルドンの考えるService(奉仕)とは、顧客に満足を与えることであり、そのための必要な条件は、「適切な質」と「適切な量」と「適切な管理」の状態が必要だと述べています。その結果、「物質的な富」、「仲間からの尊敬」、「自尊心」というProfit(利益)が生まれたと説いています。

*1910年シェルドンのスピーチ前文抜粋

19世紀における商習慣の特筆すべき点は競争である。19世紀の4分の3を迎えた頃には、毎日が食うか食われるかという動物の本能むきだしにした状態が最高潮に達していた。商売の原則は「買手の自己責任」即ち、買手が用心することであった。

20世紀の商慣習の特徴は協力することであり、知性の光に満たされた人間は、他人に利益をもたらすことこそ正しい処理法だということを理解し、経営学が人間に対するサービス学であることを理解し、同僚に対して最も奉仕した者が最も多く報われることを理解するのである。

*Profitの解釈

ロータリーの創立当時は、相互扶助の精神で会員相互のビジネスを有益に行うことが主たる目的でしたから、Profitは経済的報酬や利益と考えていたではないか。しかしシェルドンは広い意味の報酬すなわち経済的報酬とは別に精神的報酬(自尊心と仲間や他者からの尊敬、社会に貢献したという満足感)含めて解釈することが必要だとしたと思う。

シェルドンの考え方によりますと職業生活を営んでいく上で、自らの事業に関連する関係者(顧客・従業員・取引業者)を対象にして行う全ての活動を総称して職業奉仕と理解したいと思います。

第1にロータリーの基本理念。第2に職業奉仕の理解と、順を追って学べば理解し易いと考えます。田中委員長より各自の職業奉仕の解釈は幅があって良いと提唱されました。職業奉仕を原文の理解から考察することが出来、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

2025-26年度 地区職業奉仕委員会 ご報告

地区職業奉仕委員会

委員 齋藤 宙也 (平塚西RC)

次年度は、実践重視の観点から、奉仕に係る委員会が統合されることになった。理念について研究してきた当委員会の報告書を作成するに当たり、私の意見は以下のとおりである。

職業奉仕は、ロータリー屈指の難概念と言われる。しかし、定義自体は存在すると見てよいのではないか。現在のロータリークラブ定款6条2項に、定義に当たるような記載がある。要するに、①あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していく、ロータリーの理念に従って自分自身を律し事業を行うという、いわば自分の職業に対する行動規範と、②自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えるという、ロータリー内で自己の職業上のスキルを活かしていくという側面から成る。そのほか、当初は互惠関係のみからスタートしたロータリークラブが、ドナルド・カーターの出現により奉仕活動を始めるに至ったこと、経営学者シェルドンによる「最も多く奉仕する者が最も多く報われる」とのモットー、テラーの手になる4つのテストという基本的な歴史の流れは、全ロータリアンの共通言語、共通知識として押さえておきたい。

ここまでの共通認識の上に、どのように職業奉仕を実践していくのかは、各人各様の考え方がある。今年度の田中委員長は、職業奉仕概念を一定のものと決め付けず、柔軟に考えることを提唱された。他方、そもそも「service」と「奉仕」が1対1対応するのか、奉仕の理念(理想)とはどういうことかといった、テキストの原文をより深く考察しようとする姿勢も興味深かった。各ロータリアンがそこまで考察するかどうかは別として、ライオンズクラブ等とロータリークラブを分かつ特徴である職業奉仕について、1人でも多くのロータリアンが心に留めていただくきっかけとして、本報告書が役に立てば幸いである。

地区職業奉仕委員会

委員 松本 哲也 (海老名RC)

今年度の地区職業奉仕委員会は田中委員長のもと職業奉仕の考え方や理念について学び、それを地区職業奉仕セミナーやクラブへの卓話という形で活動してまいりました。地区職業奉仕セミナーでは作成したロータリークラブの黎明期からの職業奉仕についての歴史、パワーポイントを使って職業奉仕とはどういうものなのかということを伝えてまいりました。職業奉仕とはなにか?と問われれば一言で回答するのは難しいです。しかし、みなさんそれぞれ様々な職業につきその中でそのスキルを活かして活動していく中で、みんなのためになっていることを行っているはず。それこそが「職業奉仕であると思います。職業奉仕の考え方は一人一人が広い意味で、また柔軟に考えてよいと学びましたので、それを自分の職業を通して活かし、ロータリー活動の中で実践できればと思っています。

次年度は社会奉仕、国際奉仕、そして職業奉仕が一つの奉仕委員会となります。職業奉仕は自分の職業を通じて活動すれば個人奉仕であり、その職業のスキルを活かして活動すれば社会奉仕にも国際奉仕にもなると学びました。次年度はそうした個人のスキルを全体の奉仕となる委員会活動にするために今年度の委員会活動が活かされればと思います。

ロータリーの年表 1905～2019 (代表的な項目のみ) ※太字は職業奉仕関係

- 1905年**・2月23日、ポール・ハリス他3名(シルベスター・シール、ハイラム・ショーレー、ガスター・バス・ローア)がシカゴ・ロータリークラブを設立(ロータリーの創立)(1業種1人の原則)。初代会長はシルベスター・シール。ロータリーソングの習慣始まる(ハリ・ラブルス)。
- 1906年**・シカゴ・クラブ定款制定(定款第2条「綱領」に「相互扶助と親睦の概念」を導入。その後ドナルド・カーターにより「社会奉仕概念」を追加)。
- 1907年**・ポール・ハリスがシカゴRC三代目会長に就任。公衆便所設置運動(1909年設置)。(社会奉仕の実践)
- 1908年**・サンフランシスコに2番目のクラブ誕生。ついでオークランド(1909)、シアトル、ロサンゼルス、ニューヨークでRC設立。シカゴRCが最初の家族会を開催。シェルドン、ペリーが入会。**シェルドンが「職業分類表」を作成。**
- 1910年**・全米ロータリークラブ連合会が誕生し(16RC、1,500人)、ポール・ハリスが初代会長に就任(2カ年度)。後年これをRIの創立と位置づけた。チェスリー・ペリーが初代事務総長となる。
- ・シカゴで第1回ロータリー大会開催。最初のロータリーの綱領制定(親睦が目的から外れ物質的相互扶助からの脱却を図る)。
 - ・大会演説で**シェルドン(シカゴRC)が“He profits most who serves his fellows best.”を発表。**
 - ・カナダでウィニペグRC誕生(米国以外で初、翌年度加盟)。
 - ・「The National Rotarian」1月に発刊(翌年9月The Rotarianと改称)、ポール・ハリス「Rational Rotarianism」を掲載(「**Toleration:寛容**」の起源)。
 - ・ポートランドで第2回大会開催。シェルドンの標語は**“He profits most who serves best.”(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)**となって**「ロータリー宣言」の結語として採択**。また**コリンズ(ミネアポリスRC)**が小旅行企画の船上で、**“Service, Not Self”(超私の奉仕)**を発表した。その後**“Service Above Self”に変更され、シェルドンの標語と共に広く使用されるようになる(1920年頃から)**。
 - ・「The National Rotarian」11月号にコリンズの**“Service, Not Self”**についての論文が掲載された。
 - ・「Rotary Club Manual」発行(最初の手続要覧)。
 - ・国際ロータリークラブ連合会(International Association of Rotary Clubs)に改称(ドゥルース大会50RC、6,000人 グレン・ミード会長 ハリス名誉会長)。
 - ・連合会の綱領とクラブの綱領が分離された(親睦と相互扶助を一掃)。
 - ・クラブ綱領5カ条を含む模範定款・細則を発表。クラブ綱領に**“service”**という語が初出。
 - ・**「ロータリー宣言」の結語にService is the basis of all businessが加わった。**(スローガンの前半部分)
 - ・歯車のロータリーマーク制定。管区(地区)制制定。
- 1913年**・ロータリー年度を(7月1日から6月30日)と決定。
- 1914年**・**道徳律起草の提案(バッファロー大会)**。**シェルドンが黄金律を尊重した演説を行う。**
- ・ロータリー旗採用(ヒューストン大会)。IM始まる(サンフランシスコRCとオークランドRC)。ロータリークラブイギリス協会結成(BARC。後のRIBI)。
- 1915年**・サンフランシスコ大会でアイオワ州スー・シティRCの労作である**「ロータリー倫理訓(The Code of Ethics:道徳律)」を採択(職業奉仕基準の確立)**。
- ・大会報告書の中に初めて**“Ideal of service”**の語が出現。
 - ・標準クラブ定款と模範クラブ細則を採用(クラブ管理の標準化)。
 - ・地区制度・ガバナー制度の制定。アディショナル正会員制度の制定。

ロータリーの年表 1905～2019 (代表的な項目のみ) ※太字は職業奉仕関係

- 1916年**・**ガイ・ガンディカー(フィラデルフィアRC)が道徳律を含む「A Talking Knowledge of Rotary(ロータリー通解)」**を著し、連合会が出版(ロータリーの一般奉仕概念の確立)。青少年活動委員会設立。
- 1917年**・6月、アーチ・クラフTR会長が財団の前身となる“doing good in the world”を目的とする「ロータリー基金」(Rotary Endowment)を提唱(アトランタ大会)(ロータリー財団の 始まり)。RI大会の年度末開催が本格的に開始。
- 7月、カンザスシティRCがアーチ・クラフTR直前会長への記念品代として集めた残金\$26.50を国際ロータリークラブ連合会に送ってきたので、理事会(1917.7.25-26)はクラフTR会長が提唱した画期的基金へ預託することを採決した(最初の寄付)。
 - ライオンズ・クラブ国際協会発足。名誉会員制度制定。
 - 身体障害児協会設立(トレドRC)。
- 1918年**・**連合会綱領に「ideal of SERVICE」という語が初出。**
- ・**手続要覧の**に、“Service Above Self –He Profits Most Who Serves Best”とある。
 - ・日本最初のクラブ誕生(東京RC:登録番号855、米山梅吉・福島喜三次両氏の尽力による)。少年週間(“boy's week”)開始(ニューヨークRC)(初の青少年のための活動)。
学金制度開始(アトランタ RC)。ロータリー徽章採用。
 - ・手続要覧にRotary Mottoが入り、“He Profits ...”が一般的にロータリーモットーとして使用されている。“Service Above Self –He Profits Most Who Serves Best”の形式でも使われている」とある(モットーへ名称改変)。
 - ・米国外で初めて国際大会を開催(エジンバラ)。これを記念して綱領の中に国際親善と平和の項目を加えることを決定(国際奉仕の綱領化)。
 - ・**シェルドンが「ロータリー哲学」を講演し、黄金律を尊重しながら語る。**
 - ・この頃“Service, Not Self ”が一般的に“Service Above Self ”に変更される。
 - ・国際ロータリー(RI)に改称(ロサンゼルス大会1,243RC81,000人)
 - ・ロータリーの綱領改正(現在の原型、6カ条)。新しい標準RI定款・細則及びクラブ定款・細則を採択。メークアップ制度を含む出席規定制定(クラブ管理の抜本的改正)。
 - ・大阪にRCが誕生(登録番号1349)。イギリスでRIBI地域運営が認められる。
- 1923年**・**セントルイス大会で決議 23-34 採択(ロータリー理念、原則の確立)。**
- ・関東大震災に際しRIと各国RCから多額の見舞金が贈られる(RI:\$25,000、合計\$89,000)。震災孤児支援募金実施(東京RC。ニコニコ箱の原型)。
- 1924年**・ロータリー徽章の正式規格(楔穴付き)制定。無地区時代日本にスペシャル・コミッショナー初代 米山梅吉。
- 1926年**・第1回太平洋地域大会(ホノルル)。
- 1927年**・ベルギーのオステンド大会で四大奉仕部門を承認。(四大奉仕への転換)。最初の青少年交換。
- 1928年**・「ロータリー財団」設立。1931年信託組織化、1983年イリノイ州法のもとで非営利財団法人化(財団活動の確立)。
- ・第2回太平洋地域大会(東京)。
 - ・日本が満州、朝鮮を含む第70区に制定される。初代ガバナーに米山梅吉就任。大連RC設立。大連RCの「ロータリー宣言」発表
- 1929年**・ロータリー徽章(楔穴付き)確定(29-12)。ロータリー旗規格確定。世界恐慌(10月)。
- 1930年**・ロータリー創立25周年。パスト・サービス会員制度制定。青少年交換指針発表。

ロータリーの年表 1905～2019 (代表的な項目のみ) ※太字は職業奉仕関係

- 1930年**・日本スマイル箱の原型(ただし罰金徴収式)が大阪RCで発足。
- ・ロータリー財団が最初の補助金500ドルを拠出(エドガー・アレンの国際身体障害児協会へ)。世界的不景気発生。
- 1931年**・道徳律頒布禁止。
- ・RI公式資料「目標設定プラン」の中で“ideal of Service”を説明(初出)。
- 1932年**・「**四つのテスト**」創案(**ハーバート・テラー**)。
- 1933年**・「ロータリアン間の取引関係」を発表。
- 1934年**・規定審議会発足。
- 1935年**・現在の「ロータリーの綱領」ほぼ完成、前文と四カ条の本文という解釈(目的の明確化)。
- ・ポール・ハリス夫妻来日(帝国ホテル内庭に「友愛の樹」手植え)。「奉仕の理想」「我らの生業」京都大会で発表。
- 1936年**・日本のRCがRI 脱退(9月)、名称を変えて各地で例会を続ける。
- 1942年**・RI第13地区の大会が21カ国政府を代表する関係者をロンドンに招待して教育文化交流機構について協議する会議を開催、これが後にユネスコとして成立。
- 1943年**・RI理事会は、1932年にハーバート・テラー(シカゴRC)が考案した「四つのテスト」を正式採用。1954年、テラーはRI会長就任に先立ち版權をRIに寄贈。
- 1945年**・49人のロータリアンが国連憲章起草に参画。ロータリー財団の目標設定。グアムRCがRI復帰(戦後第1号)。
- 1946年**・米山梅吉逝去(4月)。福島喜三次逝去(9月)。
- 1947年**・ポール・ハリス逝去(1月27日、享年78歳)。
- 1948年**・職業奉仕解説書、パーシー・ホジソン著「Service is My Business(奉仕こそわがつとめ)」をRIが出版。
ポール・ハリス著「My Road to Rotary(わがロータリーへの道)」をRIが出版。職業奉仕(委)廃止。
- 1949年**・日本のRCがRIに復帰(第60地区:東京、京都、大阪、名古屋、神戸、福岡、札幌、他広島含む13RC)。
一都市一RC制を完全廃止。ドイツも復帰。国際協議会がシカゴ中心からレーク・プラシッドに移り“Enter to Learn, Go Forth to Serve”掲示開始(ケン・ガーンジイ1947-48RIP作)。
- 1950年**・2つの標語“**He Profits Most Who Serves Best**”と“**Service Above Self**”をロータリーモットーとして公式採用(デトロイト大会)。
- ・日本からの第1期財団親善奨学生送り出し(清水長一米国へ。元国連難民高等弁務官の緒方貞子氏は翌年の2期生)。
中国のRCが解散開始。
- 1951年**・「**ロータリー倫理訓**」本文を手続要覧から削除。中国RC解散。
- ・ロータリーの綱領の“Objects”を“Object”に変更、一カ条の主文と四つの付随項目という解釈。
 - ・最初の財団奨学生来日(東大)。
 - ・日本最初のICGF(現IM)開催。
- 1952年**・東京RCが米山記念奨学金制度立案(翌年より実施)。「手に手つないで」発表(第60地区大阪大会)。
- ・日本2地区(第60、61地区)に分割。
 - ・日本で初めてのライオンズクラブ設立。
- 1953年**・ロータリーの友創刊。第61地区神戸大会で「手に手つないで」を唄い円陣を作ることが始まる。
「それこそロータリー」発表。ホアキン・シビルスRI会長がRIテーマ発表を本格的に開始。

ロータリーの年表 1905～2019 (代表的な項目のみ) ※太字は職業奉仕関係

- 1954年・「**四つのテスト**」**版權がRIに寄贈される**。「四つのテスト」邦訳決定(本田親男)。
- 1955年・ロータリー創立50周年。ロータリー財団の目標改正。日本4地区に分割。
- 1956年・ロータリー財団週間制定。
- ・規定審議会の最初の隔年会合開催。
- 1957年・全国規模の米山記念奨学委員会設立。
- 1961年・RI第52回東京国際大会開催(参加国及び地域74以上、23,366人、**アジアで最初の大会**)天皇陛下来臨。
- 1962年・最初のインターアクトクラブがフロリダ州メルボルンに設立され世界各国に拡大(翌年、仙台に日本最初のインターアクトクラブ設立)。
- ・世界社会奉仕プログラム(WCS)の導入(国際奉仕活動の本格化)。
- 1963年・「国際ロータリーの基本方針」「ロータリーの基本的特色」「国際青少年計画への指針」発表。世界社会奉仕委員会企画発表。ポール・ハリス夫人ジーン逝去。
- 1965年・分区代理制開始。
- 1966年・研究グループ交換(GSE)発足。**職業分類指針発刊(最終)**。最初のGSE来日。
- 1967年・ロータリー米山記念奨学会を財団法人化。
- 1968年・東ヶ崎潔氏RI会長に就任(1968-69)。
- ・ローターアクト計画発表(同年、川越に日本最初のローターアクトクラブ設立)。
- 1970年・規定審議会をRIの立法機関として決定(組織の立法化)。
- ・日本ロータリー50周年。「ロータリー資料室(現ロータリー文庫)」設立。
 - ・第1回ロータリー研究会。
- 1974年・青少年交換プログラム始まる。
- 1975年・規定審議会の3年毎開催決定。RI第366地区(大阪・和歌山)でRYLAを日本で初開催。
- 1978年・RI第69回東京国際大会開催(参加国及び地域95以上、39,834人)。
- ・保健・飢餓追放・人間尊重(3-H)プログラム発表(RI主導型奉仕活動)。
 - ・米国カリフォルニア州デュアルテRCが女性入会を認めたためRIが除名、その後裁判となる。
- 1979年・**職業奉仕週間新設**。
- 1980年・ロータリー創立75周年に合わせポリオ予防接種のための3-Hプログラム推進。「ロータリーの友」公式地域誌に認定。
- ・「**道徳律**」(RI細則第16条)を完全削除。
- 1981年・RI日本支局開設(現日本事務局)。
- 1982年・向笠広次氏RI会長に就任(1982-83)。「日本ロータリー60年史」出版。
- ・決議23-34が**手続要覧から削除**。
- 1985年・ロータリー創立80周年。「ポリオ・プラス計画」を発表(翌年より実施)(ポリオ撲滅運動の推進)。

1986年・ロータリアンが100万人を突破、日本では10万人を超える。

- ・決議23-34が手続要覧に復活。

1987年・RI職業奉仕委員会復活(40年ぶり)。職業奉仕に関する声明発表(職業奉仕概念の変更)。日本28地区に分割。初めての平和フォーラム開催。

1988年・「他団体への協力」発表。

- ・女性ロータリアンを認める(シンガポール規定審議会)。
- ・「ロータリアンの職業宣言」採択。“Service Above Self”(超我の奉仕)が第1標語となる。
- ・綱領の和訳文変更。

1990年・IGFをIMIに呼称変更(日本)。ロータリー財団寄付シェア・システムに改正。

1991年・日本ポリオ・プラスキャンペーン終了(募金総額49億円)。その後、財団ベースで継続。

- ・シェアシステム採用。「国際ロータリーの使命」発表(団体奉仕活動の提唱)。

1992年・社会奉仕に関する声明(決議92-286)採択(社会奉仕基準の改正)。

1994年・日本34地区に分割。

1995年・メイクアップ期間の延長。パスト・サービス会員資格改正。女性最初のガバナー8人誕生。

1998年・ロータリーセンターの設置(日本では2002年、国際基督教大学に設立)。出席規定適用免除改正。「国際ロータリーの使命」改正。CAP(地域社会援助プログラム、後の地区補助金)開始。

2001年・正会員と名誉会員に統合、シニア、パスト、アディショナル会員廃止。

- ・1業種1会員制変更。サイバーRCテスト認可。メイクアップ規定の変更。「国際ロータリーの使命」改正。

2002年・1993年に試験的に実施され1996年に推奨プランとなった地区リーダーシッププラン(DLP)が義務的实施となる(ロータリー第2世紀への体制強化)。ロータリー世界6平和フェロー第1期生入学。

- ・日本34地区に再編成。
- ・創立100周年に向けて「ポリオ撲滅キャンペーン」展開。

2004年・“He Profits Most…”を“**They Profit Most**…”に改正。

- ・2000年よりDLPIに連動するクラブ管理プランとして検討され2003年より試験的推奨が始まっていたクラブリーダーシッププラン(CLP)の推奨クラブ細則が発表された。
- ・RI第95回大阪国際大会(参加国及び地域112以上、45,595人)。

2005年・ロータリー創立100周年記念大会(シカゴ、参加国及び地域161以上、39,460人)。

- ・日本に財団学友によるRC誕生(神奈川2007年に大阪でも誕生)。

2006年・財団の「未来の夢計画」始動(財団の新方針)。

- ・「国際ロータリーの使命」改訂。

2007年・会員資格の変更(財団学友、ボランティアリーダーの入会可)。

- ・四大奉仕部門をロータリークラブ定款に明記(2010年に五大奉仕となる)。

2007年・ポリオ撲滅がロータリーの最優先目標であることを確認。

- ・ポリオ撲滅へのビル・ゲイツ財団寄付に対応してロータリー1億ドルチャレンジグラント発表(翌年より2億ドルを目標として2012年6月末まで継続)。
- ・RI長期計画(2007-10)発表。「国際ロータリーの使命」改正。
- ・ロータリー財団の使命、標語(Doing good in the world)、優先事項など採択。

2008年・決議23-34がロータリー章典から抹消(手続要覧には記載)。

2009年・RI第100回バーミンガム国際大会(参加国及び地域157以上、16,062人)。RI職業奉仕委員会再復活。

2010年・新世代奉仕が加わり五大奉仕部門となる。

- ・“They Profit Most…”を“**One Profits Most…**”に変更。
- ・4月の規定審議会で決議23-34第1項を奉仕の哲学の定義として使用することを検討するようRI理事会に要請する件採択。6月理事会で確定。決議23-34のロータリー章典、手続要覧両方への掲載決定(ロータリー理念の再確認)。
- ・Eクラブ承認。
「国際ロータリーのビジョン」「中核となる価値観」発表。

2011年・「**ロータリアンの職業宣言**」を「**ロータリーの行動規範**」(8項目)と改正変更。WCS(世界社会奉仕)が廃止され国際奉仕に一元化。

- ・RI長期計画はRIの「**ビジョン**」を「**本質**」と改正。10月には「**長期計画**」(和訳名)を「**戦略計画**」と改称。(One Rotary構想推進)。
- ・RI職業奉仕委員会をRI職業奉仕推進委員会と改称。

2012年・田中作次氏RI 会長に就任(2012-13)。

- ・ポリオ撲滅ロータリー2億ドルチャレンジグラント達成。

2013年・“Object of Rotary”の日本語訳「**ロータリーの綱領**」が「**ロータリーの目的**」と変更され内容の訳文も改正された。国際奉仕の基本方針削除。

- ・新世代奉仕部門を青少年奉仕部門と改称。Eクラブ数制限撤廃。
- ・ロータリー財団新補助金プログラム「**未来の夢計画**」実施。

2014年・1月、「**ロータリーの行動規範**」が8項目から5項目となり、さらに10月には4項目となる。

- ・雑誌購読義務が電子版でも承認された(2010年11月RI理事会)ことに対応して「ロータリーの友」電子版1月号発刊。
- ・10月、**特別月間を大幅変更(2015年7月実施)**。2015年3月22日改訂

2016年・規定審議会によりEクラブを特別に区別しないこととした。

- ・クラブ入会金をクラブ定款より削除
- ・クラブ定款の中に例外規定を設けた。これによりクラブの大幅な柔軟性が認められ、例外規定のある部分ではクラブ細則の自由度を増した。

2019年・規定審議会によりメイクアップを同じ年度内とした。

- ・職業分類の制限が廃止された。

発行 国際ロータリー第2780地区
2025-26年度 職業奉仕委員会
2026年6月

委員長	田中 賢三	(茅ヶ崎RC)
副委員長	小柴 智彦	(藤沢東RC)
副委員長	寺田 圭次	(ふじさわ湘南RC)
委員	関口 修	(相模原西RC)
委員	松本 哲也	(平塚西RC)
委員	齋藤 宙也	(海老名RC)

Rotary International District 2780
2025-2026 Academic Year
Vocational Service Committee - Implementation Report



Rotary International District 2780

2025-2026 Academic Year

Vocational Service Committee - Implementation Report